

会 議 録

会議の名称		第7回川島町地域公共交通会議
開催日時		平30年3月16日（金）午後3時00分～4時00分
開催場所		川島町役場 大会議室
議 題		(1) 川島町地域公共交通網形成計画について (2) その他
公開・非公開の別		公 開（傍聴者0人） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 (非公開の場合のみ)		
出席者	委員	久保田委員、志村委員、利根川委員、南委員、持木委員、渋谷委員、佐藤委員、斉藤（昇）委員、斉藤（光）委員、高原委員、藤田委員、二宮委員 公共交通アドバイザー：坂本
	事務局：職員	政策推進課 石島参事兼課長、石川主幹、道祖土主査、品川主事 コンサルタント：イーグルバス株式会社
配布資料		会議次第、資料1
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会 (事務局より会議の開会にあたり、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議公開は議事より行うことし、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない。)</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>会 長：議事録署名委員を指名する。南委員、渋谷委員を指名する。</p> <p>(1) 川島町地域公共交通網形成計画について（資料1）</p> <p>(事務局にて資料1を用いて説明)</p> <p>事務局：来年度以降の進め方や取り組みについて説明する。計画内に来年度以降のスケジュールを示している。年度が明けて早々に地域公共交通会議を開催し、示されている多くの取り組みのなかで何から始めるべきなのかを議論し、計画を立てるとともに、進捗状況を協議していく予定である。 また、かわみんタクシーの乗り合わせ促進に関連して町としてすでに検討を</p>		

始めていることを報告する。やすらぎの郷利用者専用送迎バスは路線延長が長いことで時間がかかり、利用者も固定化されている。途中下車の要望が多いといった課題もある。一方、かわみんタクシーは利用者が増えて、乗り合わせを促進したい意向がある。この2点を一体的に捉え、やすらぎの郷利用者専用送迎バスのワゴン車による乗り合い化を検討している。具体的には、かわみんタクシーよりも大きいワゴン型の車両を活用して運行し、やすらぎの郷の利用者だけでなく、子育て世代が利用できるようかわみんハウスも乗降場所に設定するような運行内容で検討している。受益者負担の観点から有償による運行を前提として検討している。

委員：やすらぎの郷送迎バスの大型車両は無くなるのか。

事務局：その通りである。10人乗り程度を考えている。1便あたり10人未満という現在の利用状況を踏まえたものである。

委員：現在の大型車両はどこで所有しているのか。

事務局：有限会社川島自動車である。

委員：かわみんタクシーの乗り合わせは進めないのか。

事務局：かわみんタクシー自体の乗り合わせは促進していく。検討しているやすらぎの郷利用者専用送迎バスの新たな運行形態は、乗り合いによりいくつかの乗降場所を経由して運行するものとしたい。

会長：乗り合い運行については、知らない人同士を乗せるということか。


事務局：見込みの通りである。

(2) その他

事務局：来年度に入り、4月中に会議を開催したいと考えている。

4 町長あいさつ

5 閉 会

署 名	南・義明 
	渋谷由美 